

2022年1月14日

## 2022年スポーツライミング国際競技大会派遣選手選考基準

### 1. 権限の所在及び決定の方法

国際競技大会に派遣する日本代表選手を選考する最終的な権限は公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会（以下「当協会」という。）にある。派遣選手の選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

### 2. 日本代表チームの目標

- (1) パリ 2024 オリンピックにおいて金メダルを含む複数メダルを獲得する。
- (2) 単種目でのワールドランキング 10 位以内の成績により IFSC 枠を多く獲得することとワールドランキング 11 位から 40 位までの成績を多くの選手が収めることにより恒久的に日本選手が世界で活躍できる場を創り出す。
- (3) IFSC ワールドカップにおける全種目での国別ランキング 1 位を目指し、国際的に「強い日本」を印象づける。
- (4) 第 19 回アジア競技大会において金メダルを含む複数メダルを獲得する。

### 3. 各国際競技大会における選手選考基準

#### (1) IFSC ワールドカップ 2022

##### ① 選考方針

- a. パリ 2024 オリンピックまではパリオリンピック強化選手を最優先に選考する。
- b. 単種目での優勝を目指し、日本代表チームとして各種目国別ランキング 1 位獲得への貢献が期待できる選手の中から選考する。

##### ② 国際競技大会派遣のための必要条件

- a. 2022 年 12 月 31 日までに 16 歳に達していること
- b. 当協会登録選手規程に従い A 登録をしていること
- c. 該当種目の 2022 年国内選考大会 (③) に参加すること。ただし、指定感染症への感染などの特別な事情により参加できない場合はその限りではない。

##### ③ 2022 年国内選考大会

- a. 第 17 回ボルダリングジャパンカップ(2022 年 2 月 5-6 日、三重県四日市市)
- b. 第 35 回リードジャパンカップ (2022 年 2 月 12-13 日、千葉県印西市)

- c. 第4回スピードジャパンカップ(2022年3月5または6日、京都府亀岡市)  
 ※スピードの選手派遣標準タイムについては、IFSCまたはJMSCAが主催・共催・公認するスピード種目の大会を対象とする(期間:2022年3月~7月末)

④ 選考基準

参加優先順	日本代表選手区分及び選考基準	選出予定人数	備考
1	第4期 JMSCA パリオリンピック強化選手 S ランク ※選考基準は別途定める	男女最大 <b>各2名</b>	第19回アジア競技大会終了までそれぞれの該当種目に <u>最大3大会</u> まで優先的に派遣
2	IFSC 枠保有選手 (該当種目に限る)	選考基準の該当となった選手数	参考資料参照
3	【リード、ボルダリング】 国内選考大会の上位選手 (該当種目に限る)	優先順1、2を除く 男女 <b>各8名</b>	国内選考大会の上位成績者から優先的に各大会の派遣最大数まで派遣する
	【スピード】 a. 第4回スピードジャパンカップで3位以内の選手 b. 国内選考大会等において2022年選手派遣標準タイムである <u>男子6.700秒以内、女子9.400秒以内</u> の記録を出した選手	選考基準の該当となった選手数	・個人最高記録の上位者から優先的に各大会の派遣最大数まで派遣する ・派遣を決定する個人最高記録は派遣対象大会の30日以前のものとする
その他	特別追加選手 ※該当選手がいた場合は、優先順1、2に次ぐ優先順で選出する	男女最大 <b>各2名</b> (該当選手がいた場合のみの選出) ※上位6位以	2022年IFSCワールドカップで該当種目にて上位6位以内の成績を収めた男女最大各2名の選手を次の1大会に派遣する。 ただし、派遣対象大会は該当成績を収めた日から30日以降の

		内の選手が 3 名以上いた場合は成績上位者から 2 名を選出する	次の 1 大会とする
--	--	----------------------------------	------------

⑤ IFSC 枠保有選手及び国別枠について

a. IFSC 枠保有選手（参考資料参照）

2022 年 1 月 1 日時点で該当種目の**世界ランキングが 10 位以内**であること。

b. 国別枠

日本以外で大会が開催される場合は、各種目の各カテゴリーにおいて各国で男女最大 5 名ずつ。

c. チーム構成、予算、安全面等の状況を総合的に判断し、多数の派遣が困難な大会については IFSC ルールに記載されている a・b の基準の派遣枠よりも少ない選手数を派遣する場合がある。

⑥ 派遣選手決定時期

基本的に派遣選手については各大会の 70 日前を目処に決定し、大会開催前までに公表する。ただし、特別追加選手やスピード種目において個人記録が上回る選手がいた場合は派遣の 30 日前に大会派遣選手の入れ替えが行われることがある。

(2) その他の国際競技大会について

① アジア選手権大会（2022 年 6 月・韓国）

※「2022 年 スポーツクライミング国際競技大会派遣選手選考基準」に従う

② 第 19 回アジア競技大会（2022 年 9 月・中国）

③ IFSC コンバインドワールドカップ（2022 年 10 月・中国など）

※②③は「スポーツクライミング 第 4 期 JMSCA パリオリンピック強化選手選考兼コンバインド種目大会等の派遣選手選考について」に従う

4. その他

(1) IFSC ルール等が変更された場合及び大会要項の変更があった場合には、選手選考基準も準じて改定をおこなう。

(2) 選手への渡航費や宿泊費等の補助の詳細については、2022 年度強化委員会予算決定

後に選手へ通知する。

- (3) 国際競技大会への新型コロナ感染症対策等は(2)が決定と同時期に詳細な内容をガイドラインとして連絡する。
- (4) 新型コロナウイルス感染症等による大会の延期になった場合及び国内選考大会が予定通りに実施できなかった場合には可能な限り早急に特別措置を公表した上で派遣対象選手を決定する。

## 【参考資料】

### 2022年IFSC 枠保有選手（2022年1月1日現在）

#### 1. ボルダリング

藤井快、緒方良行、檜崎智亜、高田知堯、野中生萌、伊藤ふたば

#### 2. リード

樋口純裕、谷井菜月、阿部桃子

#### 3. スピード種目

該当者なし